

自己評価公表シート

令和7年度 第1回 津山社会福祉事業会 津山乳児保育園

1. 本園の保育目標

子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。
1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
2. 豊かな生活経験のなかから、基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。
3. 安心した気持ちで、さまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。
4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	具体的な取り組み
保育について 保育の理念・保育観の理解、保育計画の作成、計画に基づいた保育実践に関して職員間の共通理解を図る。	日頃から「保育所保育指針」を読み、その内容を理解したうえで保育内容や保育方法等、広い知識を得て保育に務める。 自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合いを通じて子ども主体の保育の在り方や意見を出し合う。
経営組織について 自分の職務や役割分担を理解し、職員間で意見交換し、同じ方向に向かって職務を行う。	自分の職務遂行に責任を持ち、自ら園全体の経営組織についての理解を深めるために積極的に情報を収集し、職員間で連絡・相談・報告を密にし、職員会議や連絡会等で周知徹底に努めるようにする。
資質向上について 保育士・栄養士・看護師の専門性の向上のため、自己研鑽に務める。	人権や主体性を尊重した保育、不適切保育や虐待防止に向けた研修を行い共通理解を図る。専門性を重視した研修の中でのグループワークなどで、お互いに意見が言い合える環境作りを行う。全職員の意識向上に向け継続して取り組み自己研鑽し、資質向上を図るよう努める。
その他 子どもが安心、安全に心穏やかに過ごせるよう一人ひとりに寄り添った保育に努める。	乳児が安心して心地よく過ごせるよう、年齢や状況に応じた保育内容を検討しながら、子どもたちの主体性が育つ環境の中、健やかな成長を促し、保護者と共に成長を願い、喜び、安心して預けることが出来る丁寧な保育を進めていく。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み状況
乳児の発達過程を十分理解したうえで、子どもたちが安全に安心して過ごせる保育の計画を実施する。	子ども主体の保育を重視し、乳児の発達過程を十分理解した上で、保育計画の作成や環境構成を実行していきます。 担任以外の全職員が、一人ひとりの子どもの育ちや具体的ななかかわり方を理解した上で、保育を進めていく。
全職員の共通理解と連携を図っていく。	職員会議、連絡会、年齢別チーム会議等で、話し合った内容を分かりやすく提示し、全職員が一人ひとりの子どもの育ちや情報を共通理解し、園全体で子どもの育ちを見守り、促していけるようにする。
職員の資質向上に取り組み専門性を磨く。	園内、園外研修に積極的に参加し、職員が主体的に学び合う姿勢と環境作りに努めています。また、外部講師を招いて主体性保育を軸に学びの場を設け、実践につなげながら保育の質向上を目指していく。
保護者、地域、専門関係との連携を図る。	今年度よりICT化を進める上で、お便りや連絡等をアプリ上でやり取りするようになりましたが、変わらず園内での子どもたちの様子が伝わるように、スライドショーやホームページも活用しながら進めています。 専門機関との連携も密にとり、子どもの健康で心豊かな育ちにつながるようにしていく。